

Ⅳ 博士前期課程授業科目一覧・履修方法

文芸学専攻

【授業科目一覧】

授 業 科 目	単 位 数	単位区分		履修 学年	授業 形態	ディプロマポリシー			
		必 修	選 択 必 修			DP 1	DP2	DP3	DP4
【A部門：理論部門】									
文芸学特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
文芸学特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
文芸学特論Ⅲ	2			1・2	講義	○			
文芸学特論Ⅳ	2			1・2	講義	○			
哲学特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
哲学特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
芸術心理学特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
芸術心理学特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
文芸情報学特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
文芸情報学特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
マスコミュニケーション論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
マスコミュニケーション論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
メディア論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
メディア論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
文芸史特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
文芸史特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
芸術社会学特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
芸術社会学特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
文芸表現特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
文芸表現特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
文芸文献原典講読Ⅰ	2			1・2	講義	○			
文芸文献原典講読Ⅱ	2			1・2	講義	○			
【B部門：研究・創作部門】									
外国文芸特殊研究A	2		2	1	演習	○	○		
外国文芸特殊研究B	2		2	2	演習	○	○		
日本文芸特殊研究A	2		2	1	演習	○	○		
日本文芸特殊研究B	2		2	2	演習	○	○		
文芸創作特殊研究A	2		2	1	演習	○	○		
文芸創作特殊研究B	2		2	2	演習	○	○		
外国文芸特論Ⅰ	4			1・2	講義	○	○		
外国文芸特論Ⅱ	4			1・2	講義	○	○		
日本文芸特論Ⅰ	4			1・2	講義	○	○		
日本文芸特論Ⅱ	4			1・2	講義	○	○		
文芸創作特論Ⅰ	4			1・2	講義	○	○		
文芸創作特論Ⅱ	4			1・2	講義	○	○		
【C部門：関連領域部門】									
芸術学特論	4		4	1・2	講義	○		○	○
リサーチ特殊研究Ⅰ	2			1・2	講義	○	○		
リサーチ特殊研究Ⅱ	2			1・2	講義	○	○		
映画史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
映画史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
放送史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
放送史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
日本美術史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
日本美術史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
西洋美術史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	

授 業 科 目	単 位 数	単位区分		履修 学年	授業 形態	ディプロマポリシー			
		必 修	選 択 必 修			DP 1	DP2	DP3	DP4
西洋美術史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
西洋音楽史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
西洋音楽史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
デジタル特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
デジタル特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
東洋美術史特論	2			1・2	講義			○	
工芸史特論	2			1・2	講義			○	
建築史特論	2			1・2	講義			○	
現代美術特論	2			1・2	講義			○	
音響心理学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
音響心理学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
【D部門：連携研究部門】									
連携理論研究Ⅰ	2			1	講義			○	
連携理論研究Ⅱ	2			1	講義			○	
連携表現研究Ⅰ	2			1	演習・実習			○	
連携表現研究Ⅱ	2			1	演習・実習			○	
【E部門：アート思考科目部門】									
アート思考特論	4		4	1	講義	○		○	○
アート思考論Ⅰ	2		2	1・2	講義	○			○
アート思考論Ⅱ	2		2	1・2	講義	○			○
アート思考研究Ⅰ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅱ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅲ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅳ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅴ	1		1	1・2	演習				○
【修士論文等】									
学位論文・作品・制作									

【履修方法】

※論文コース、制作・作品コースともに上記のうちから、30単位以上を修得しなければなりません。

論文コースの者は芸術学特論4単位を、制作・作品コースの者はアート思考特論4単位を含め、アート思考科目部門の中から8単位以上を修得しなければなりません。

※外国文芸特殊研究A・B、日本文芸特殊研究A・B、文芸創作特殊研究A・Bは段階履修となるため、1年次にAを修得しないとBを履修することができません。この中から研究指導教員が担当する4単位を修得しなければなりません。

※履修年次の1・2は1年次又は2年次に履修してください。

※年度により開講しない科目もあるので、当該年度の時間割・シラバスを確認してください。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

DP1：各自の専門分野における高度で専門的な芸術理論・歴史の知識を身につける。

DP2：専門分野における高度な研究能力、論理的思考力および創造力を培い、自律的に研究を遂行できる能力と問題解決能力を身につける。

DP3：幅広い視野にたち、隣接芸術領域における関連する芸術理論・歴史の知識を身につける。

DP4：芸術の歴史のなかで各領域の果たしてきた役割と社会における意味を総合的に論考し、今日の芸術的状况を認識する能力を身につけるとともに、「アート思考」を養い、アートと社会の関係性を考え、専門的知識や技術を社会で応用し、新たな芸術創造と活動に貢献できる力を身につける。

映像芸術専攻

【授業科目一覧】

授 業 科 目	単 位 数	単位区分		履修 学年	授業 形態	ディプロマポリシー				
		必 修	選 択 必 修			DP 1	DP2	DP3	DP4	
【A部門：理論部門】										
映像特論Ⅰ	2			1	講義	○				
映像特論Ⅱ	2			1	講義	○				
写真史特論Ⅰ	2			1・2	講義	○				
写真史特論Ⅱ	2			1・2	講義	○				
映画史特論Ⅰ	2			1・2	講義	○				
映画史特論Ⅱ	2			1・2	講義	○				
放送史特論Ⅰ	2			1・2	講義	○				
放送史特論Ⅱ	2			1・2	講義	○				
映像技術特論Ⅰ	2			1・2	講義	○				
映像技術特論Ⅱ	2			1・2	講義	○				
映像音響特論Ⅰ	2			1・2	講義	○				
映像音響特論Ⅱ	2			1・2	講義	○				
デジタル特論Ⅰ	2			1・2	講義	○				
デジタル特論Ⅱ	2			1・2	講義	○				
映像文献原典講読Ⅰ	2			1・2	講義	○				
映像文献原典講読Ⅱ	2			1・2	講義	○				
【B部門：演習・実習部門】										
映像表現研究ⅠA	2		2	1	演習	○	○			
映像表現研究ⅠB	2		2	2	演習	○	○			
写真特殊研究ⅠA	2		2	1	演習	○	○			
写真特殊研究ⅠB	2		2	2	演習	○	○			
映画特殊研究ⅠA	2		2	1	演習	○	○			
映画特殊研究ⅠB	2		2	2	演習	○	○			
放送特殊研究ⅠA	2		2	1	演習	○	○			
放送特殊研究ⅠB	2		2	2	演習	○	○			
映像メディア特殊研究ⅠA	2		2	1	演習	○	○			
映像メディア特殊研究ⅠB	2		2	2	演習	○	○			
映像作品特殊研究ⅠA	2		2	1	演習	○	○			
映像作品特殊研究ⅠB	2		2	2	演習	○	○			
映像技術特殊研究ⅠA	2		2	1	演習	○	○			
映像技術特殊研究ⅠB	2		2	2	演習	○	○			
映像表現研究Ⅱ	2			1・2	演習	○	○			
写真特殊研究Ⅱ	2			1・2	演習	○	○			
映画特殊研究Ⅱ	2			1・2	演習	○	○			
放送特殊研究Ⅱ	2			1・2	演習	○	○			
映像メディア特殊研究Ⅱ	2			1・2	演習	○	○			
映像作品特殊研究Ⅱ	2			1・2	演習	○	○			
映像技術特殊研究Ⅱ	2			1・2	演習	○	○			
映像構成研究	2			1・2	演習	○	○			
音響作品特殊研究	2			1・2	演習	○	○			
【C部門：関連領域部門】										
芸術学特論	4		4	1・2	講義	○		○	○	
リサーチ特殊研究Ⅰ	2			1・2	講義	○	○			
リサーチ特殊研究Ⅱ	2			1・2	講義	○	○			
文芸学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○		
文芸学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○		
文芸学特論Ⅲ	2			1・2	講義			○		
文芸学特論Ⅳ	2			1・2	講義			○		
哲学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○		
哲学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○		
芸術心理学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○		
芸術心理学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○		
文芸情報学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○		
文芸情報学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○		
マスコミュニケーション論Ⅰ	2			1・2	講義			○		
マスコミュニケーション論Ⅱ	2			1・2	講義			○		
メディア論Ⅰ	2			1・2	講義			○		
メディア論Ⅱ	2			1・2	講義			○		
文芸史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○		
文芸史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○		
芸術社会学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○		
芸術社会学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○		
造形特論Ⅰ	2			1	講義			○		

授 業 科 目	単 位 数	単位区分		履修 学年	授業 形態	ディプロマポリシー			
		必 修	選 択 必 修			DP 1	DP2	DP3	DP4
造形特論Ⅱ	2			1	講義			○	
デザイン史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
デザイン史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
建築史特論	2			1・2	講義			○	
日本美術史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
日本美術史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
西洋美術史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
西洋美術史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
音楽芸術特論Ⅰ	2			1	講義			○	
音楽芸術特論Ⅱ	2			1	講義			○	
音楽芸術特論Ⅲ	2			1・2	講義			○	
音楽芸術特論Ⅳ	2			1・2	講義			○	
西洋音楽史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
西洋音楽史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
情報音楽特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
情報音楽特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
芸能学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
芸能学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
舞踊学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
舞踊学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅲ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅳ	2			1・2	講義			○	
東洋美術史特論	2			1・2	講義			○	
工芸史特論	2			1・2	講義			○	
現代美術特論	2			1・2	講義			○	
音響心理学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
音響心理学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
【D部門：連携研究部門】									
連携理論研究Ⅰ	2			1	講義			○	
連携理論研究Ⅱ	2			1	講義			○	
連携表現研究Ⅰ	2			1	演習・実習			○	
連携表現研究Ⅱ	2			1	演習・実習			○	
【E部門：アート思考科目部門】									
アート思考特論	4		4	1	講義	○		○	○
アート思考Ⅰ	2		2	1・2	講義	○			○
アート思考Ⅱ	2		2	1・2	講義	○			○
アート思考研究Ⅰ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅱ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅲ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅳ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅴ	1		1	1・2	演習				○
【修士論文等】									
学位論文・作品・制作									

【履修方法】

- ※論文コース，制作・作品コースともに上記のうちから，30単位以上を修得しなければなりません。
論文コースの者は芸術学特論4単位を，制作・作品コースの者はアート思考特論4単位を含め，アート思考科目部門の中から8単位以上を修得しなければなりません。
- ※映像表現研究ⅠA・ⅠB，写真特殊研究ⅠA・ⅠB，映画特殊研究ⅠA・ⅠB，放送特殊研究ⅠA・ⅠB，映像メディア特殊研究ⅠA・ⅠB，映像作品特殊研究ⅠA・ⅠB，映像技術特殊研究ⅠA・ⅠBは段階履修となるため，1年次にAを修得しないとBを履修することができません。この中から研究指導教員が担当する4単位を修得しなければなりません。
- ※履修年次の1・2は1年次又は2年次に履修してください。
- ※年度により開講しない科目もあるので，当該年度の時間割・シラバスを確認してください。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- DP1：各自の専門分野における高度で専門的な芸術理論・歴史の知識を身につける。
- DP2：専門分野における高度な研究能力，論理的思考力および創造力を培い，自律的に研究を遂行できる能力と問題解決能力を身につける。
- DP3：幅広い視野にたち，隣接芸術領域における関連する芸術理論・歴史の知識を身につける。
- DP4：芸術の歴史のなかで各領域の果たしてきた役割と社会における意味を総合的に論考し，今日の芸術的状況を認識する能力を身につけるとともに，「アート思考」を養い，アートと社会の関係性を考え，専門的知識や技術を社会で応用し，新たな芸術創造と活動に貢献できる力を身につける。

造形芸術専攻

【授業科目一覧】

授 業 科 目	単 位 数	単位区分		履修 学年	授業 形態	ディプロマポリシー			
		必 修	選 択 必 修			DP 1	DP2	DP3	DP4
【A部門：理論部門】									
造形特論Ⅰ	2			1	講義	○			
造形特論Ⅱ	2			1	講義	○			
日本美術史特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
日本美術史特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
西洋美術史特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
西洋美術史特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
デザイン史特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
デザイン史特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
東洋美術史特論	2			1・2	講義	○			
工芸史特論	2			1・2	講義	○			
建築史特論	2			1・2	講義	○			
現代美術特論	2			1・2	講義	○			
美術教育研究Ⅰ	2			1・2	講義	○			
美術教育研究Ⅱ	2			1・2	講義	○			
造形文献原典講読Ⅰ	2			1・2	講義	○			
造形文献原典講読Ⅱ	2			1・2	講義	○			
【B部門：演習・実習部門】									
造形芸術研究ⅠA	2		2	1	演習	○	○		
造形芸術研究ⅠB	2		2	2	演習	○	○		
造形理論研究ⅠA	2		2	1	演習	○	○		
造形理論研究ⅠB	2		2	2	演習	○	○		
造形芸術研究Ⅱ	2		2	1・2	演習	○	○		
造形理論研究Ⅱ	2		2	1・2	演習	○	○		
美術特殊研究Ⅰ	2			1・2	演習	○	○		
美術特殊研究Ⅱ	2			1・2	演習	○	○		
美術特殊研究Ⅲ	2			1・2	演習	○	○		
美術特殊研究Ⅳ	2			1・2	演習	○	○		
美術特殊研究Ⅴ	2			1・2	演習	○	○		
美術特殊研究Ⅵ	2			1・2	演習	○	○		
美術特殊研究Ⅶ	2			1・2	演習	○	○		
美術特殊研究Ⅷ	2			1・2	演習	○	○		
デザイン特殊研究Ⅰ	2			1・2	演習	○	○		
デザイン特殊研究Ⅱ	2			1・2	演習	○	○		
デザイン特殊研究Ⅲ	2			1・2	演習	○	○		
デザイン特殊研究Ⅳ	2			1・2	演習	○	○		
美術作品研究Ⅰ	2			1・2	演習	○	○		
美術作品研究Ⅱ	2			1・2	演習	○	○		
美術作品研究Ⅲ	2			1・2	演習	○	○		
美術作品研究Ⅳ	2			1・2	演習	○	○		
美術作品研究Ⅴ	2			1・2	演習	○	○		
美術作品研究Ⅵ	2			1・2	演習	○	○		
美術作品研究Ⅶ	2			1・2	演習	○	○		
美術作品研究Ⅷ	2			1・2	演習	○	○		
デザイン作品研究Ⅰ	2			1・2	演習	○	○		
デザイン作品研究Ⅱ	2			1・2	演習	○	○		
デザイン作品研究Ⅲ	2			1・2	演習	○	○		
デザイン作品研究Ⅳ	2			1・2	演習	○	○		
アートプロジェクト研究	2			1・2	演習	○	○		
デザイン実務研究	4			1・2	演習	○	○		
【C部門：関連領域部門】									
芸術学特論	4		4	1・2	講義	○		○	○
リサーチ特殊研究Ⅰ	2			1・2	講義	○	○		
リサーチ特殊研究Ⅱ	2			1・2	講義	○	○		
文芸学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
文芸学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
哲学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
哲学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
文芸情報学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
文芸情報学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
映像特論Ⅰ	2			1	講義			○	

授 業 科 目	単 位 数	単位区分		履修 学年	授業 形態	ディプロマポリシー			
		必 修	選 択 必 修			DP 1	DP2	DP3	DP4
映像特論Ⅱ	2			1	講義			○	
写真史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
写真史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
映画史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
映画史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
放送史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
放送史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
音楽芸術特論Ⅰ	2			1	講義			○	
音楽芸術特論Ⅱ	2			1	講義			○	
西洋音楽史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
西洋音楽史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
情報音楽特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
情報音楽特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
芸能学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
芸能学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅲ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅳ	2			1・2	講義			○	
芸術心理学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
芸術心理学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
芸術社会学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
芸術社会学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
デジタル特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
デジタル特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
音響心理学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
音響心理学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
【D部門：連携研究部門】									
連携理論研究Ⅰ	2			1	講義			○	
連携理論研究Ⅱ	2			1	講義			○	
連携表現研究Ⅰ	2			1	演習・実習			○	
連携表現研究Ⅱ	2			1	演習・実習			○	
【E部門：アート思考科目部門】									
アート思考特論	4		4	1	講義	○		○	○
アート思考論Ⅰ	2		2	1・2	講義	○			○
アート思考論Ⅱ	2		2	1・2	講義	○			○
アート思考研究Ⅰ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅱ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅲ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅳ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅴ	1		1	1・2	演習				○
【修士論文等】									
学位論文・作品・制作									

【履修方法】

- ※論文コース，制作・作品コースともに上記のうちから，30単位以上を修得しなければなりません。
論文コースの者は芸術学特論4単位を，制作・作品コースの者はアート思考特論4単位を含め，アート思考科目部門の中から8単位以上を修得しなければなりません，
- ※造形芸術研究ⅠA・ⅠB，造形理論研究ⅠA・ⅠBは段階履修となるため，1年次にAを修得しないと2年次にBを履修することができません。この中から研究指導教員が担当する4単位を修得しなければなりません。
- ※造形芸術研究Ⅱ，造形理論研究Ⅱの中から研究指導教員が担当する2単位を修得しなければなりません。
- ※履修年次の1・2は1年次又は2年次に履修してください。
- ※年度により開講しない科目もあるので，当該年度の時間割・シラバスを確認してください。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- DP1：各自の専門分野における高度で専門的な芸術理論・歴史の知識を身につける。
- DP2：専門分野における高度な研究能力，論理的思考力および創造力を培い，自律的に研究を遂行できる能力と問題解決能力を身につける。
- DP3：幅広い視野にたち，隣接芸術領域における関連する芸術理論・歴史の知識を身につける。
- DP4：芸術の歴史のなかで各領域の果たしてきた役割と社会における意味を総合的に論考し，今日の芸術的状況を認識する能力を身につけるとともに，「アート思考」を養い，アートと社会の関係性を考え，専門的知識や技術を社会で応用し，新たな芸術創造と活動に貢献できる力を身につける。

音楽芸術専攻

【授業科目一覧】

授 業 科 目	単 位 数	単位区分		履修 学年	授業 形態	ディプロマポリシー			
		必 修	選 択 必 修			DP 1	DP2	DP3	DP4
【A部門：理論部門】									
音楽芸術特論Ⅰ	2			1	講義	○			
音楽芸術特論Ⅱ	2			1	講義	○			
音楽芸術特論Ⅲ	2			1・2	講義	○			
音楽芸術特論Ⅳ	2			1・2	講義	○			
西洋音楽史特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
西洋音楽史特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
情報音楽特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
情報音楽特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
音楽教育特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
音楽教育特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
音楽心理学特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
音楽心理学特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
音響心理学特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
音響心理学特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
音楽文献原典講読Ⅰ	2			1・2	講義	○			
音楽文献原典講読Ⅱ	2			1・2	講義	○			
【B部門：演習・実習部門】									
作曲特殊研究A	2		2	1	演習	○	○		
作曲特殊研究B	2		2	2	演習	○	○		
声楽特殊研究A	2		2	1	演習	○	○		
声楽特殊研究B	2		2	2	演習	○	○		
器楽特殊研究A	2		2	1	演習	○	○		
器楽特殊研究B	2		2	2	演習	○	○		
音楽学特殊研究A	2		2	1	演習	○	○		
音楽学特殊研究B	2		2	2	演習	○	○		
音楽教育特殊研究A	2		2	1	演習	○	○		
音楽教育特殊研究B	2		2	2	演習	○	○		
情報音楽特殊研究A	2		2	1	演習	○	○		
情報音楽特殊研究B	2		2	2	演習	○	○		
音楽研究法Ⅰ	2			1	演習	○	○		
音楽研究法Ⅱ	2			2	演習	○	○		
音楽表現研究Ⅰ	2			1	実習	○	○		
音楽表現研究Ⅱ	2			2	実習	○	○		
音楽作品研究	2			1・2	演習	○	○		
指揮研究	2			1・2	演習	○	○		
演奏会制作	2			1・2	演習	○	○		
音響創造研究	2			1・2	演習	○	○		
サウンドレコーディング研究	2			1・2	演習	○	○		
【C部門：関連領域部門】									
芸術学特論	4		4	1・2	講義	○		○	○
リサーチ特殊研究Ⅰ	2			1・2	講義	○	○		
リサーチ特殊研究Ⅱ	2			1・2	講義	○	○		
造形特論Ⅰ	2			1	講義			○	
造形特論Ⅱ	2			1	講義			○	
映像特論Ⅰ	2			1	講義			○	
映像特論Ⅱ	2			1	講義			○	
映像音響特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
映像音響特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
放送史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
放送史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
演劇学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
舞踊学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
舞踊学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
芸能学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	

授 業 科 目	単 位 数	単位区分		履修 学年	授業 形態	ディプロマポリシー			
		必 修	選 択 必 修			DP 1	DP2	DP3	DP4
芸能学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
日本美術史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
日本美術史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
西洋美術史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
西洋美術史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
文芸史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
文芸史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
哲学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
哲学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
デジタル特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
デジタル特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
東洋美術史特論	2			1・2	講義			○	
工芸史特論	2			1・2	講義			○	
建築史特論	2			1・2	講義			○	
現代美術特論	2			1・2	講義			○	
【D部門：連携研究部門】									
連携理論研究Ⅰ	2			1	講義			○	
連携理論研究Ⅱ	2			1	講義			○	
連携表現研究Ⅰ	2			1	演習・実習			○	
連携表現研究Ⅱ	2			1	演習・実習			○	
【E部門：アート思考科目部門】									
アート思考特論	4		4	1	講義	○		○	○
アート思考論Ⅰ	2		2	1・2	講義	○			○
アート思考論Ⅱ	2		2	1・2	講義	○			○
アート思考研究Ⅰ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅱ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅲ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅳ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅴ	1		1	1・2	演習				○
【修士論文等】									
学位論文・作品・制作									

【履修方法】

※論文コース，制作・作品コースともに上記のうちから，30単位以上を修得しなければなりません。

論文コースの者は芸術学特論4単位を，制作・作品コースの者はアート思考特論4単位を含め，アート思考科目部門の中から8単位以上を修得しなければなりません，

※作曲特殊研究A・B，音楽特殊研究A・B，器楽特殊研究A・B，音楽学特殊研究A・B，音楽教育特殊研究A・B，情報音楽特殊研究A・Bは段階履修となるため，1年次にAを修得しないとBを履修することができません。この中から研究指導教員が担当する4単位を修得しなければなりません。

※音楽教育法Ⅰ・Ⅱ，音楽表現研究Ⅰ・Ⅱは段階履修となるため，1年次にⅠを修得しないと2年次にⅡを履修することができません。

※履修年次の1・2は1年次又は2年次に履修してください。

※年度により開講しない科目もあるので，当該年度の時間割・シラバスを確認してください。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

DP1：各自の専門分野における高度で専門的な芸術理論・歴史の知識を身につける。

DP2：専門分野における高度な研究能力，論理的思考力および創造力を培い，自律的に研究を遂行できる能力と問題解決能力を身につける。

DP3：幅広い視野にたち，隣接芸術領域における関連する芸術理論・歴史の知識を身につける。

DP4：芸術の歴史のなかで各領域の果たしてきた役割と社会における意味を総合的に論考し，今日の芸術的状况を認識する能力を身につけるとともに，「アート思考」を養い，アートと社会の関係性を考え，専門的知識や技術を社会で応用し，新たな芸術創造と活動に貢献できる力を身につける。

舞台芸術専攻

【授業科目一覧】

授 業 科 目	単 位 数	単位区分		履修 学年	授業 形態	ディプロマポリシー			
		必 修	選 択 必 修			DP 1	DP2	DP3	DP4
【A部門：理論部門】									
舞台芸術特論Ⅰ	2			1	講義	○			
舞台芸術特論Ⅱ	2			1	講義	○			
演劇学特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
演劇学特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
舞踊学特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
舞踊学特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
芸能学特論Ⅰ	2			1・2	講義	○			
芸能学特論Ⅱ	2			1・2	講義	○			
演劇学特論Ⅲ	2			1・2	講義	○			
演劇学特論Ⅳ	2			1・2	講義	○			
演劇学特論Ⅴ	2			1・2	講義	○			
演劇学特論Ⅵ	2			1・2	講義	○			
演劇学特論Ⅶ	2			1・2	講義	○			
演劇学特論Ⅷ	2			1・2	講義	○			
演劇学特論Ⅸ	2			1・2	講義	○			
演劇学特論Ⅹ	2			1・2	講義	○			
【B部門：演習・実習部門】									
身体表現実習Ⅰ	2			1	実習	○	○		
身体表現実習Ⅱ	2			2	実習	○	○		
身体表現研究Ⅰ	2			1	演習	○	○		
身体表現研究Ⅱ	2			2	演習	○	○		
舞台表現研究Ⅰ	2			1	演習	○	○		
舞台表現研究Ⅱ	2			2	演習	○	○		
応用表現研究Ⅰ	2			1	演習	○	○		
応用表現研究Ⅱ	2			2	演習	○	○		
舞台芸術研究A	2	2		1	演習	○	○		
舞台芸術研究B	2	2		2	演習	○	○		
【C部門：関連領域部門】									
芸術学特論	4		4	1・2	講義	○		○	○
リサーチ特殊研究Ⅰ	2			1・2	講義	○	○		
リサーチ特殊研究Ⅱ	2			1・2	講義	○	○		
メディア論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
メディア論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
映像特論Ⅰ	2			1	講義			○	
映像特論Ⅱ	2			1	講義			○	
造形特論Ⅰ	2			1	講義			○	
造形特論Ⅱ	2			1	講義			○	
音楽芸術特論Ⅰ	2			1	講義			○	
音楽芸術特論Ⅱ	2			1	講義			○	
音楽芸術特論Ⅲ	2			1・2	講義			○	
音楽芸術特論Ⅳ	2			1・2	講義			○	
映画史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
映画史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
放送史特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
放送史特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
映像音響特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
映像音響特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
デジタル特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	

授 業 科 目	単 位 数	単位区分		履修 学年	授業 形態	ディプロマポリシー			
		必 修	選 択 必 修			DP 1	DP2	DP3	DP4
デジタル特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
東洋美術史特論	2			1・2	講義			○	
工芸史特論	2			1・2	講義			○	
建築史特論	2			1・2	講義			○	
現代美術特論	2			1・2	講義			○	
音響心理学特論Ⅰ	2			1・2	講義			○	
音響心理学特論Ⅱ	2			1・2	講義			○	
【D部門：連携研究部門】									
連携理論研究Ⅰ	2			1	講義			○	
連携理論研究Ⅱ	2			1	講義			○	
連携表現研究Ⅰ	2			1	演習・実習			○	
連携表現研究Ⅱ	2			1	演習・実習			○	
【E部門：アート思考科目部門】									
アート思考特論	4		4	1	講義	○		○	○
アート思考論Ⅰ	2		2	1・2	講義	○			○
アート思考論Ⅱ	2		2	1・2	講義	○			○
アート思考研究Ⅰ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅱ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅲ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅳ	1		1	1・2	演習				○
アート思考研究Ⅴ	1		1	1・2	演習				○
【修士論文等】									
学位論文・作品・制作									

【履修方法】

※論文コース，制作・作品コースとともに上記のうちから，30単位以上を修得しなければなりません。

論文コースの者は芸術学特論4単位を，制作・作品コースの者はアート思考特論4単位を含め，アート思考科目部門の中から8単位以上を修得しなければなりません，

※1年次に舞台芸術研究Aを修得しないと2年次に舞台芸術研究Bを履修することができません。研究指導教員が担当する舞台芸術研究A、舞台芸術研究Bをそれぞれ修得しなければなりません。

※履修年次の1・2は1年次又は2年次に履修してください。

※年度により開講しない科目もあるので，当該年度の時間割・シラバスを確認してください。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

DP1：各自の専門分野における高度で専門的な芸術理論・歴史の知識を身につける。

DP2：専門分野における高度な研究能力，論理的思考力および創造力を培い，自律的に研究を遂行できる能力と問題解決能力を身につける。

DP3：幅広い視野にたち，隣接芸術領域における関連する芸術理論・歴史の知識を身につける。

DP4：芸術の歴史のなかで各領域の果たしてきた役割と社会における意味を総合的に論考し，今日の芸術的状況を認識する能力を身につけるとともに，「アート思考」を養い，アートと社会の関係性を考え，専門的知識や技術を社会で応用し，新たな芸術創造と活動に貢献できる力を身につける。